

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課
 担当名: 産業教育・キャリア教育担当
 内線: 6775 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P17	収益力のある農業を学ぶ担い手育成プログラム推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール 4	
					分野施策	0501	確かな学力と目立する力の育成	SDGsターゲット 4-1, 4-3, 4-4	
1 事業概要 農業高校において、収益力のある農業を学ぶカリキュラムを開発・実践し、農業高校生が農業を将来現実につく仕事としてより意識して進路決定を行えるようになることで、農業関連産業への人材輩出へつなげていく。 収益力のある農業を学ぶプログラム 節約等による減額 △825千円			5 事業説明 (1) 事業内容 儲かる農林業を学ぶ担い手育成プログラム 21,229千円 データ等を活用した栽培管理や食品製造などのスマート農業、農業経営を学ぶカリキュラムを開発・実践する。 (2) 事業計画 ア 気象や衛生管理データ等を活用した栽培管理や食品製造などのスマート農業、農業経営を学ぶカリキュラムを開発する。 イ 収益力のある農業を学ぶカリキュラムの開発・実践に向けた企業等とのコーディネートを実施する。 ウ カリキュラムの実践に向けた、遠隔監視制御システム、空調、無線LAN、営農支援ツール等を整備する。 (3) 事業効果 農業高校生が農業を将来現実に就く仕事としてより意識して進路決定を行えるようになり、農業関連産業に人材が輩出される。 【活動指標(アウトプット)】スマート農業や農業経営を学ぶカリキュラムの開発・実践 2校 【成果指標(アウトカム)】農業関連分野への就職・進学および就農や就農目的の進学の割合 40% (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 カリキュラムの開発に当たって、産業界と連携の上、外部人材の適切な活用を図る。 (5) 補正予算の概要 節約等による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		県 債							
決定額	△825	△1,000						175	21,229
現計額	22,054	4,000						18,054	

事業内訳書

事業名	収益力のある農業を学ぶ担い手育成プログラム推進事業		
単位事業名	儲かる農林業を学ぶプログラム	予算額	△ 825千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・教育債	△1,000	—	県立高等学校建設事業債
一般財源	175	—	
合計	△825	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△46	—	節約による旅費の減
委託料	△779	—	見込みを下回ったことによる委託料の減
合計	△825	—	